

要であると思います。当町においても、学校関係で周知に取り組みだ経緯があるが、現状の取り組みについて。

A 新年度において、冊子を購入しながら講演等もできるように進めていきたい。

(町長)

議席4番

櫻井 実 議員



○認知症予防対策について

Q 認知症の検診料を助成して早期発見による予防対策としてはどうか。

A 予防対策として地域包括支援センターを中心に各種支援事業を展開している。検診事業は行っていないが、かかりつけ医師や専門医による認知症の早期発見・治療の重

要性については深く認識しており十分に調査研究を重ねたい。

(福祉部長)

Q 認知症カフェの取り組みについての考え方は。

A 新オレンジプランとして介護者の負担軽減を図るため平成30年までに実施するよう国から目標設定されている。すでに昨年9月午久市へ職員等4名により先進地視察を行ったところであり、認知症の方に優しい地域づくりを図るため県内外の自治体の取り組みを参考に平成30年までに設置していきたい。

(福祉部長)

A 町としても、新オレンジプランに基づき認知症カフェやそれに関わる認知症地域支援推進員の設置等、各種施策を実施していきたい。

(介護福祉課長)

○ふれあいの里の有効活用について

Q 野外ステージを町民が活用できる施設に修繕すべきと思うが考え方は。

A 野外ステージ前のイベント広場(観客席)は、開発行為で調整池として作られたもので、排水機能悪化により降雨時には雨水が溜まった状態であり、さらに野外ステージだけではなく屋外トイレや木製遊具の経年劣化も見られることから抜本的な見直しの際に検討したい。

(教育次長)

Q 歩行困難者等の駐車スペースについて。

A 車いす利用者の方は、憩いの家西側のロータリーで乗り降りしていただいている。今後、ギャラリイ夢の東側にスロープがあり、歩行困難者等の駐車場として確保したい。

(教育次長)



県町村議長会より

県町村議長会から議員在職12年以上の自治功労者として、内海和子議員と関稔議員が表彰され、第1回定例会において伝達されました。

(表彰者の写真)



内海和子議員



関 稔議員